



新しい年を迎えて

園長 鳥塚 恵子

新年明けましておめでとうございます。

今年の東京のお正月は、穏やかな天気にも恵まれました。皆様もよい年をお迎えになったことと思います。しかし、感染者の数が一気に増え、心配の種はまだ続きます。柳町こどもの森でも、感染症対策は今まで以上に気を付けていきますので、ご家庭でも手洗い、うがいの徹底、マスクの着用など、子どもたちとともに感染症対策を進めていきましょう。



4歳児コマ製作

さて、今年は丑(牛)年です。「牛」は古くから食牛や乳牛、耕牛と呼ばれ酪農や農業で人々を助けてくれる存在として重要な生き物でした。大変な農業を地道に最後まで手伝ってくれる様子から、丑年は『我慢(耐える)』や『発展の前触れ(芽が出る)』を表す年になると言われています。コロナ禍の中、まだまだ先の見えない状況ですが、この状況に耐えながら、豊かな体験を通してじっくりと子どもたちを育てていきたいと思いを新たにしました。

文京区の幼児教育施設では、文京区教育センターの先生方に巡回相談に来ていただき、先生方からのご指導をたくさん受け、日々の教育・保育に生かしています。

そのご指導の中で最近の傾向として、体制維持が難しくきちんと座ってられないお子さんが増えているということ、それは幼児の体が大きくなる時期に、体力をつけていないことからバランスがとれなくなっているということでした。体が成長する時期に子どもなりに体力をつけること、つまり、歩く、走る、跳ぶなど様々な動きを普段からたくさん経験することがとても大切です。園では園庭はなくなりましたが、保育室、廊下、ホール、階段、テラス、児童館の屋上など、いろいろな場でたくさんの活動をしています。家庭でも手軽にできることは、登降園の際にしっかりと歩いてくることだと思います。3学期の教育日数は、50日(年長児は47日)しかありません。なるべく自転車を控え、抱っこなどはしないで、親子で歩いて登降園されることをお勧めします。

年長児は修了を、年少児は進級を意識し、保育園児もそれぞれ大きくなることに対して、これから期待に胸を膨らませていきます。子どもたちにとって、心に残る体験ができるように教育・保育活動の充実を図り、残り少なくなった一日一日を大切に、子どもたちをしっかりと育てていきます。本年もどうぞ、よろしくお願いいたします。